

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|---------|-------------------|
| 事業所番号 | 3870300880 |
| 法人名 | (有)ひだまりの会 |
| 事業所名 | グループホームいぶき |
| 所在地 | 愛媛県宇和島市伊吹町1368番地3 |
| 自己評価作成日 | 平成26年1月20日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS |
| 所在地 | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成26年2月5日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| <p>当ホームでは、利用者の方とスタッフが”ありがとう”と感謝し合えるよう努めており、笑顔の絶えないホームです。 また、ご近所さんとお付き合いを大切にしており、時々イベントを開催し、ご近所さんにもお越しいただいて親睦を深めるなどして、とても楽しく日々を過ごせるホームです。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

| |
|---|
| <p>恒例となっている事業所の納涼祭・芋炊き時は、利用者職員が近所を回って招待し、知り合いの方が屋台を出してくれたり、ピンゴゲームを企画する等、子ども達も楽しみにしている。利用者の顔を覚えてくれており、1人で歩いている利用者を見つけて知らせてもらったこともある。事業所で認知症サポーター養成講座を開催した際には、近隣の方が6名参加された。 平成24年から、食事を兼ねて家族会を年に1回開催されている。ほとんどのご家族が参加され、利用者と一緒に食事を楽しまれたり、ご家族同士が顔を合わせる機会になっている。 管理者が活けた白梅・菜の花・水仙の花を利用者に見てもらいアドバイスをもらってから玄関に飾っておられた。居間の天井は高く、柔らかい自然光が入り明るい。畳の部屋には防炎じゅうたんを敷き、ソファでテレビを見たり、ベランダ越しに外を眺める場所となっている。玄関脇にも季節の花を植えて、プランターの植え替えには、近所の方が協力してくださっている。</p> |
|---|

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|--|--|----|---|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | | |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームいぶき

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

田中ちとせ

評価完了日

平成26年1月20日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------|------|---|---|-------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている | (自己評価) 実践に確実に繋がっているという自信はないが努力している | |
| | | | (外部評価) 「この地で楽しく いきいきとし 安心して暮らせる」と理念をつくり、職員は、初心に返る際やミーティング、又、業務の中で照らし合わせながら、取り組みをすすめておられる。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している | (自己評価) 日常的には、近隣の方々にお会いした時の挨拶を心がけ、納涼祭、いもたき、秋祭り等楽しく交流させていただいている。 土砂災害が心配で市には報告していたが実現できずにいたが、地域の方の申告で工事が叶い、大雨の時の心配がなくなった。 | |
| | | | (外部評価) 恒例となっている事業所の納涼祭・芋炊き時は、利用者と職員が近所を回って招待し、知り合いの方が屋台を出してくれたり、ビンゴゲームを企画する等、子ども達も楽しみにしている。利用者の顔を覚えてくれており、1人で歩いている利用者を見つけて知らせてもらったこともある。事業所で認知症サポーター養成講座を開催した際には、近隣の方が6名参加された。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている | (自己評価) あまりできていないが、キャラバンメイトの研修を近隣の方に 来て頂き、共に勉強させて頂いた。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 4 | 3 | <p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>(自己評価) 充分ではないと思うが、活かしている。 推進会議に参加してもらっているグループホームさんの庭で運動会に参加させてもらう等、意見を取り入れている。</p> <p>(外部評価) 会議には、自治会長や副会長の参加があり、地域行事や防災訓練等の情報を教えてくれている。市内2グループホームとは、お互いの運営推進会議に参加し合っておられ、昨年は、合同で運動会を実施された。ご家族の参加は、現在1名と限られており、参加されていないご家族への報告をどのように行うか検討中である。</p> | |
| 5 | 4 | <p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) 積極的には取り組んでいないが、2ヶ月に一度の推進会議の時に、ホームの事を話したり、又、職員さんからいろいろ情報を頂いている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議に参加される担当者は毎年交代があるが、入所施設の待機状況や認知症を地域で支える必要性、防災情報等を教えてくださっている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) 絶対拘束をしていないとはいえない。 言葉掛けに拘束を感じる時がある。 朝の手薄な時に何回か施錠した事がある。</p> <p>(外部評価) ベッドからの転落が心配される利用者には、畳の上に布団を敷いて休めるよう支援されている。言葉による制止については、今後、職員間で勉強していきたいと話しておられた。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 虐待はしていない。 他施設の研修に誘ってもらい、夜勤者以外参加させてもらっている。 | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) できていない。 | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 努めている。 契約時に説明、又、契約書をよく読んでもらって理解、納得してもらっている。 | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 面会に来られた時、お電話をさせてもらった時、又、運営推進会議等で意見を言ってもらっている。 (外部評価) 平成24年から、食事を兼ねて家族会を年に1回開催されている。ほとんどのご家族が参加され、利用者と一緒に食事を楽しまれたり、ご家族同士が顔を合わせる機会になっている。日頃の利用者の状態については、毎月担当者が写真を添えて、現状報告をされている。これまでに、利用者の状態を詳しく伝えたことが、ご家族の不安を招くことになった事例があり、伝え方に気配りが必要ということ職員全員で申し合わされた。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------|------|---|--|-------------------------------|
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) ミーティングで意見を聞き、改善できる所はしている。 (外部評価) 職員のつながりで、月に1回、3B体操の指導者の協力を得て、利用者は体操を行っておられる。普段あまり動かない利用者も、楽しそうに体を動かすようだ。退職した職員の結婚のお祝いを事業所で行い、職員がケーキ等を用意して、結婚式のような雰囲気を利用者も味われた。利用者は雰囲気を楽しまれ、お祝いできたことを殊の外、喜ばれたようだ。さらにステップアップするために、事業所では内部研修の充実を計画されている。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) 研修にも行ってもらう。資格により給料も決めている。(会社負担で介護福祉士を受験してもらう) | |
| 13 | | 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 県社協研修、GH協会研修、市関係研修、他民間の研修も受けてもらいながら、自社研修もしている。又、講師を招いての研修もしている。 | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通して、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価) 研修、推進会議、グループホーム連絡会、相互研修等で交流し、充分とはいえないが取り組んでいる。 | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) 一緒に生活し、話しかけ、よく聞き、よく見知る事に努めている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) 開始する段階で色々お話を聞かせてもらい、又、来られた時、手紙・電話等で関係作りに努めている。 | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 家族さんのお話をよく聞き、充分とはいえないが努めている。 | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) 家事を手伝ってもらったり、レクレーション、買い物、遊びに行ったり、又、相談を投げかけたりして、充分とはいえないが築けていると思う。 | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 充分とはいえないが、手紙・電話・来訪時に共に過ごしてもらい、関係を築いている。 | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) なじみの人や場所との関係が途切れないよう努めているが、家族からの申し出によっては例外ではない場合もある。 (外部評価) 住んでいた地区の祭りに職員と出かけたり、ご家族の帰省に合わせて、帰宅される利用者もある。ご家族からの連絡用に携帯電話を持つ方もいる。友人の訪問時には、ゆっくり過ごせるよう、居室へ案内されている。「家に帰りたい」と言う利用者も複数おられるが、遠くであったり、それぞれにご事情があり、支援に難しさもあるようだ。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|---|-------------------------------|
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 利用者同志の交流は、難しい時は職員が仲介し、交流できるよう関わる。 | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) 対象者はいないが、ご家族さんとのお付き合いはある。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 毎日の会話の中でとか、様子で気づき判断することもある。 (外部評価) そろばんの得意な方・生け花やお茶の先生をしていた方等、利用者それぞれの得意分野で力を発揮できるよう、場面作りをされている。ほとんど意思表示のなかった利用者がおられた際には、医師と相談しながら減薬に取り組み、問いかけに返事をいただけるまでに状態が改善した事例がある。又、ご家族と相談して、起床や食事時間等、マイペースに生活できるよう、支援している事例もある。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 努めているが、聞き出せていない、本当かどうか定かでない事もある。 家族の方ともそう話されないが、聞ける方には聞いている。 | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 暮らしの中の一コマの写真、又、職員の気づき、毎日の会話、バイタルチェック等で把握に努めている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|--|
| 26 | 10 | <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>月一回のミーティングで各職員が意見を出し、本人の情報を共有する事に努めている。又、家族の意見もその都度確認し、本人、家族の希望により近づけるよう介護計画の見直しを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族に意見を聞く際には、利用者の「できること探しをしたい」と伝え、意見や要望を引き出せるよう工夫されているが、ご家族からの具体的な意見の引き出しにつながらないようだ。計画の見直しは、必要性等を踏まえて決めておられる。</p> | <p>日々の記録については、支援内容が分かりやすいように替えていきたいと考えておられ、記録をもとに介護計画のモニタリングや見直しにつなげていけるよう、取り組みをすすめてほしい。利用者の思いや意向、できることを計画に採り入れ、今後もさらに、利用者主体の支援に取り組まれてほしい。</p> |
| 27 | | <p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>センター方式の採用により、細かい部分も詳細に記入し、情報の共有を行っている。</p> | |
| 28 | | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>(自己評価)</p> <p>デイ職員がピアノを持参で歌ったりデイ利用者さんが踊りを踊ってくださる事がある。 今後同事業所のデイに参加できれば、と思っている。</p> | |
| 29 | | <p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>いつもとはいえないが、納涼祭・秋祭り等楽しんでいる。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>かかりつけ医が忙しく、月一回の往診になるが、必要に応じ受診、電話連絡等で支援している。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>協力医の往診が月2回から1回に変更となったが、何かあった場合はいつでも相談できるようになっている。週に1回訪問してくれる看護師にも、相談できる体制が整っている。それ以外の通院には、ご家族や職員が付き添われている。「いつもと様子が違う」という職員の気付きから検査を行うことにつながり、疾患が見つかったようなこともあった。早期発見・早期治療により、元の生活に戻れた方がいる。</p> | |
| 31 | | <p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>週に一度(四時間)ではあるが、様子を伝え相談する、又、看護師よりアドバイスをもらっている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>週に一度(四時間)ではあるが、様子を伝え相談する、又、看護師よりアドバイスをもらっている。</p> | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>入院時にはホームでの様子等詳しく説明している。又、度々訪問し様子を見に行き安心してもらえるように努めている。又、病院関係者と関係をつくっている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>入院時にはホームでの様子等詳しく説明している。又、度々訪問し様子を見に行き安心してもらえるように努めている。又、病院関係者と関係をつくっている。</p> | |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>利用者さんからはなかなか聞き取る事が難しいので、家族さんとよく話し合うようにしている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>入居後1年経ってから、利用者やご家族とは看取りについて詳しく話し合うようにされている。事業所での看取りを希望するご家族が多いが、事業所に迷惑を掛けると心配するご家族も少なくない。急変した場合は救急車を呼ぶことが多いが、「呼ばなくてもよい」と言われるご家族もおられる。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-------------------------------|------|---|---|--|
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) | |
| | | | 急変や事故発生時の備えについての対応は一応備えているが、訓練を定期的に行っていない為、不安があるが、日頃の介護の中で少しずつ身につけていると思う。 | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) | |
| | | | 充分とは言えないが、話し合いや避難訓練等を少しずつ行っている。訓練時には近隣の方にも来ていただき、災害時の協力はお願いしている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 土砂崩れの心配があった事業所前の山肌は工事が終了し、大雨が降っても安心となった。事業所で実施した夜間想定 の避難訓練には、近所の方の参加もあり、浴室の戸を開け 大声で助けを呼べば、協力していただけることになっている。 消防署の点検では、「コードをピンで止めずテープに」 「カーテンは床に着かないように」と指導があり、改善された。 3日分の備蓄品は今後、担当職員を決めて点検したいと話 しておられた。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) | |
| | | | 充分とはいえないが、心がけている。 職員を友達や親戚とっておられる方もおり、親しく接している。時々間違った言葉をかける時もあり、その事に気づき姿勢を正している。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 職員の話し方が馴れ馴れしくなったり、危険な場面では、つい大きな声になることもあるが、気付いた他職員が注意することになっている。運営推進会議録に実名を使用することについては、あらかじめ了解を得ておられる。 | 職員の声かけや対応について、利用者の立場に立ち、個々に振り返る機会をつくってはどうか。職員自身の気付きは、取り組みの起点にもなる。この機会に、職員個々の気付きを持ち寄り、ケアの質向上に向けて話し合ってみてほしい。 |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) | |
| | | | 充分ではないが働きかけている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 努力はしているが、なかなか希望に添った支援はできていな いと思う。 | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している | (自己評価) 自分で判断できない人は職員がその人らしい身だしなみに 気をつけている。自分でできる人にはアドバイスや、褒め てあげたりする。 | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている | (自己評価) ここは味付けがいい、いつも美味しいと笑顔が見れる。 準備、後片付け等出来る方にはしていただいている。 | |
| | | | (外部評価) 日曜日以外は毎日魚屋の車が来て、利用者と一緒に夕食 のおかずを選んでおられる。飲み込みがうまくできなくなって 刻み食にしている方も、行事食等、好物は皆と同じものを しっかり食べられようだ。入院中、経管栄養になった利用者 もあるが、職員がお見舞に行き、様子を見ておられ、退院後 は少しずつ口から食べられるよう支援された。調査訪問時、 職員の手作りエプロンを着けて食事をされていた。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている | (自己評価) 努力している。 水分摂取が難しく、色々試しながら支援している。 | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている | (自己評価) 完全とは言えないがほとんどできている。 歯ブラシが使えない方には口腔ケアスポンジ、ティッシュ を使用している。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) | |
|------|------|--|--------|---|--|
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | (自己評価) | 自立されている方には早めの声掛け、又、介助のいる方には、表情・動作を見てトイレで排泄できるように支援している。 なかなか自立に向けた支援ができていない。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | (自己評価) | 水分・センナ茶・運動等で予防に取り組んでいる。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価) | 一応入浴の時間は決めているが、個々に応じた支援をしている。 頭にタオルを巻き、歌を歌いながら楽しそうに入浴されている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | (自己評価) | 食後ホールで居眠りしたり、好きな場所で気持ちよく友達と一緒に眠っておられる姿がよく見られる。 | |
| | | | (外部評価) | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 努めている。 主治医と相談しながら支援している。 | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) 洗濯物たたみ、モップがけ、炊事等できる事をしていただき、必要とされていると感じていただいている。 又、歌を歌ったり、おやつを食べたり等、気分転換等充分ではないが支援している。 | |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) あまりできていない。 又、地域の方との外出の協力はできていない。 本人さんの希望とはいかないが、時々遠出をしている。 家族さんの協力を得て外出される方もおられる。 | |
| | | | (外部評価) 利用者の誕生日に、一緒にプレゼントを買いに行かれることもある。計画を立てて、ドライブや地方祭等、交代で全員出かけられるよう支援されている。ご家族と出掛けることを楽しみにしている方もおられる。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) お金の管理を出来る方がほとんどおられない。 買い物に行った時に財布を持ってもらい支払いしてもらおう。 | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 十分な支援が出来ていない。 時々スタッフが電話をかけ、お話ししてもらっている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価) 充分ではないが工夫している。 玄関・部屋には生花を生け、二ヶ月毎に壁飾りを変えて季節感を採り入れている。 ホールには畳の部屋があり、くつろがれている。</p> <p>(外部評価) 管理者が活けた白梅・菜の花・水仙の花を利用者に見てもらいアドバイスをもらってから玄関に飾っておられた。利用者は、幼児サイズの手作り人形を大切にしておられ、着物を着せ替えたり、抱いたりしてかわいがっておられる。居間の天井は高く、柔らかい自然光が入り明るい。畳の部屋には防災じゅうたんを敷き、ソファでテレビを見たり、ベランダ越しに外を眺める場所となっている。玄関脇にも季節の花を植えて、プランターの植え替えには、近所の方が協力してくださっている。</p> | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価) 充分とはいえないが工夫している。 ホールに畳の部屋・ソファがあり、ゆっくり過ごされている。</p> | |
| 54 | 20 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価) 使い慣れたものや好みのものを使っておられる方もありますが、そうでない方もおられる。安心して暮らせるように心がけている。</p> <p>(外部評価) 管理者は、全居室にお花を絶やすことなく活けておられ、利用者は、「花はええなぁ」と喜ばれているようだ。畳を敷き布団で休み、ご自分で布団の上げ下ろしをする方もいる。調査訪問日には、押入れとタンスを開け、衣類の整理をする利用者がおられ、職員は、利用者が自由にできるよう見守っておられた。ご家族の写真には、名前を添えて飾っておられ、「今度来たらお年玉をやらんといけん」と金額をメモされていた。</p> | |
| 55 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>(自己評価) 各自部屋にトイレ、洗面台があり、安心してゆっくりできる。 部屋の前には名前と写真があり、確認できている。</p> | |